

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年07月25日

計画の名称	三原村災害に強い村づくり計画（防災・安全）													
計画の期間	令和05年度～令和05年度（1年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	三原村													
計画の目標	今後発生が予想される大地震による地殻変動が原因となって、甚大な被害が発生する可能性の高い盛土造成地において、変動予測調査（第二次スクリーニングを計画の作成など）を実施し、その結果を踏まえ第二次スクリーニングを実施する。 第二次スクリーニングの結果をもとに、当該地区の住民へ情報提供を行うとともに、必要に応じて対策工事を計画していくことにより、災害に強い安全・安心で快適な整備を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		10	A	10	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5		R5
1	第二次スクリーニング計画の結果をもとに盛土の安全性把握調査を実施する。また安全性把握調査結果について、WEBページにより公表し、安全性の公表率を100%にする。 大規模盛土造成地の安全性把握調査の結果を公表し、安全性の公表率を0%から100%にする。 公表箇所数/安全性把握調査の対象となった大規模盛土造成地数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	三原村	直接	三原村	-	-	大規模盛土造成地の安全 性把握調査（宮ノ川地区 ）	大規模盛土造成地の安全性把 握調査（地盤調査一箇所）	三原村	■					10		-	
											小計						10			
											合計						10			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三原村にて目標値の達成状況を実施	令和7年7月
	公表の方法
	三原村ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニングを実施し、結果をホームページにて公表したことにより住民へ安全性の周知を行うことが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
安全性把握により経過観察（異常時点検）を行うことが望ましいと評価されたことにより、点検を行う指標を得ることが出来たため、点検を実施していく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	